

これからの原子力をどうする？

## 討論会

### [ 開発と規制の体制作り、人材育成をどうすべきか ]

日時： 2011年 11月1日(火)  
18:30 から 20:45

場所： 石神コミュニティーセンター 会議室 A,B

#### 内容:

- 1、中央執行委員会挨拶、問題提起
- 2、自由討論

組合員はもちろんどなたでも参加、発言できます。

福島原発事故、またその後、原子力安全・保安院の世論誘導やらせも明らかになり、国も原子力規制の抜本的改革を計らなければならなくなりました。規制関連機関と推進機関の明確な分離もなされようとしています。明確な分離は、これまで、各方面から要求があったもので、歓迎すべきですが、規制にかかわる人材をどのように得るのか、作って行くのかも大きな課題です。

原子力にかかわる多くの機関や人々が、「安全神話」に毒されているといわれても反論できない状況の中、どこから、人材を得るのかも大きな課題です。

推進についても同じ問題があります。一言で「安全神話」と批判される部分は確かにあり、その部分を改善しなければ、また大きな事故を起こすでしょう。これまで原子力開発をつかさどってきた人たち、今回の大事故に責任がある人たちにまかせてよいはありません。

各位の反省も含めて議論したいと思います。組合員以外も参加できます。多くの参加を期待します。

2011年10月26日

お知らせ： 組合員並びに労組OBの皆さんへ

日本原子力研究開発機構労働組合 執行委員会

### 昔の 労組一斉積立預金について

かつて、労組を中継して、労働金庫に一斉積立を行なっていました。いつから始まり、いつ終わったかは、昔のことであり、定かではありませんが、1971年3月ごろには始まっていたようです。また1994年にはやめています。その後、預金の返還を行っていましたが、帳簿から返済すべき先が不明と思われる預金が残り、労組が管理しています。最期の返還は1998年に行われそれ以後、ありません。

労組としては、この積立金について、返還できるものは返還し、近年中に会計処理したいと考えています。つきましては、預金引出しを忘れていらっしゃる方がいらっしゃいましたら、労組に請求していただきたく、この旨お知らせします。

連絡は、労組事務所 (TEL: 029-282-5413) 書記 清水にお願いします。

